

下地・流甲


ちょっと
拝見

となりの DAMカート

色ベタ+スミ40% 50a新B

湘南鎌倉総合病院の巻

30a新B 38a新B



2ミ

0.5ミリケイ・スミ20%
128ミ
99ミ

×56・5ミ
Y68ミ

×26ミ
Y200ミ

0.3ミリケイ・色ベタ+スミ40%
51ミ
160ミ

白マシ

色ベタ+スミ40% 基本情報 15a ロタンB 20H
手術室 18 室に対して DAM カート 2 台 (中身は同じ)
W 70 cm × D 45 cm × H 85.5 cm 30H
DAM カートは手術エリア中央に配置している。
置き場所から最も遠い手術室の麻酔器前まで小走りで 36 秒。
i-gel (#3/#4/#5) やアンビューバッグ、ヘッドバンド、経鼻エアウェイ (7.0 mm)、
経口エアウェイ (大 / 小) は、全手術室に常備している。
気管支ファイバースコープは DAM カートにはなく、エコーなどの麻酔科機材庫にあり、
小児 DAM 物品は、小児麻酔カートに積載している。

14a ロタンDB 20H
13a ロタンDB 20H

情報提供 湘南鎌倉総合病院 菊池 佳奈 先生 中村 優太 先生

14a 新B

指定外は、11a 新B

1234 ● LISA VOL.11 NO.1 2004-1

色ベタ+スミ40%・文字白2キ
Y255ミ
6ミ
42ミ

ちょっと拝見◆となりのDAMカート

- 上面
- McGRATH™ MAC ブレード (#3/#4)
 - エアウェイスコブ (AWS)
 - イントロク NK (SL, 薄型)
 - チェックリスト

- 側面
- 工吊り下げ：ガムエラスティックチューブ、チューブエクステンジャー
 - 側面ラック：McGRATH MAC ブレード (#3/#4) 箱



- 引き出し 1 段目
- テ・Magill 鉗子
 - Macintosh 型 ブレード (#4/#5)
 - 開口器
 - オバサピアンエアウェイ
 - ヘッドバンド
 - LMA® スタビライザーロッド
 - air-Q® リムーバルスタイルット (大/中, 小は小児カートに積載)



コメント

当院の大きな特徴は、日本医学シミュレーション学会認定のDAMセミナーを筆頭に、さまざまなDAMに関する院内教育を3か月に1回程度開催していることである。セミナーは麻酔科医のみならず、ほかの診療科の医師や初期研修医、看護師も交えて開催しており、職種の垣根を超えたDAM教育を展開している。

DAMカートの内容は1年ほど前に刷新した。点検は看護師が月に一度行うことになっている。DAMカートに薬物や気管支ファイバースコープは搭載していないが、それぞれ手術室中央の薬品庫と器材庫に配置しており、看護師に頼んですぐに持って来てもらえるような体制を敷いている。

半年ほど前のCVCI (cannot ventilate, cannot intubate) 症例を契機に、i-gel (#3/#4/#5)、アンビューバッグ、ヘッドバンドを各部屋の麻酔カートに追加で配備した。現場レベルでの議論や

工夫を継続し、日々の症例からの学びを改善につなげられるようにしている。

なお、手術室での小児科症例は多くはないが、小児用のカートを別に設置し、その中に小児DAM関連物品としてクイックトラック小児用、経口エアウェイ (ゲデルエアウェイ3.5/5.0/5.5 mm)、LMAプロシール (#1.5/#2/#2.5)、i-gel (#1.5/#2/#2.5)、McGRATH MACブレード (#1/#2) を搭載して、カートごと移動するようにしている。また小児に関連する部門では、院内共通内容の小児もしくは新生児緊急カートの配備がされている。

手術室外の気道緊急は救急科と集中治療科によるチームが対応することになっており、基本的に麻酔科に依頼はない。

※謝辞 本稿作成にあたりご意見をいただいた太田 隆嗣先生に感謝申し上げます。



- 引き出し 2 段目
- クイックトラック
 - 輪状甲状膜切開用キット
 - パーキュティニアス・トラキオストミー・キット
 - LMA プロシール (#3/#4/#5)
 - LMA ファーストラック (#3)
 - 経鼻エアウェイ (6.0/7.0/8.0/9.0 mm)

- 引き出し 3 段目
- AWS 本体 3 個
 - McGRATH MAC 本体 3 個
 - McGRATH バッテリー

